



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

平成27年1月7日

1月号

横浜市立釜利谷南小学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

校長 田中 綾子

和して同ぜず

新年おめでとうございます。

お正月のテレビでは新春を祝って各界の対談が多く行われます。いつものように適当にスイッチを切り替えていますと、林文字市長と女優の余貴美子さんの新春対談がありました。余さんは横浜市立戸部小学校出身です。途中からですが見ることにしました。市長が2015年の横浜を女優さんとどう語るのか興味があったからです。

その中で市長は、「横浜は和して同ぜずというところがあり、そこが横浜の良さである。横浜は文化のハード面や箱物は充分あるのでこれからは中身を充実させていきたい。演劇の面などでもご協力願いたい。」というような内容を話していました。久しぶりに聞く「和して同ぜず」でした。

「和して同ぜず」

【注釈】 孔子が「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」と言ったことに基づく。

君子は誰とでも調和するものだが、道理や信念を忘れてまで人に合わせるようなことは決してしないということ

【出典】 『論語』 子路

確かに横浜は、開港以来海外の文化や文明を次々と受け入れ、やがて横浜ならではの作り上げ、横浜らしさを造り上げ、そして横浜文化を創り上げてきました。新しいものを柔軟に受け入れた上で独自のものを生み出す力は、横浜の良さ強さであるとともに日本の良さ強さでもあると思います。飛鳥時代の聖徳太子も和を十七条憲法の第一条に掲げています。

和と同の違いは何でしょうか。論語や四文字熟語辞典などで和而不同を調べ意味を比べるとおおよそ次のようです。

「和」は、主体性を持ちながら、互いに相手を大切に、協力し合うこと。

「同」は、主体性なく、気まぐれや利害関係などで他人の言動に同調すること。

ここで、年末に見たテレビを思い出しました。「嵐15年目の告白」という番組です。二宮和也さんにはリーダー大野智さんの言ったことで忘れられない言葉があるということです。結成して2、3年目にメンバーは話し合います。「嵐が上に行くには下克上しかない、今までのことをすべてゼロにしてリスタートしよう」というみんなの意見に反対したのがリーダーの大野さんでした。普段は何でもいいよいいよのリーダーが強く反対したそのときの言葉は、

「今、目の前のことを頑張れないで、何を頑張れるんだ。」

それ以来、この「今、全力を尽くす」という考え方が二宮さんにとって仕事の根幹になっているということです。話し合いが真剣に本音でできる仲間、お互いを認め合える建設的なグループなのだあと感動しました。「和」のグループ。伸びるわけです。私達も、個として自覚している仲間が集まって調和し向上していくクラス、学年や集団にしていきたいものです。

未(ひつじ)が来ると書いて未来

～子ども達が未来に希望をもつために～

まいにち うまれたて

こひつじ あや

あさおきたら

いきをすってはいて

しんこきゅう

「おはよう」を

あつめます

だから

まいにち

ふっくらこ

だから

まいにち

うまれたて

釜利谷南小学校は、地域や関係機関の達人や講師をお招きして、学習や活動を支援していただいています。6年はお琴、尺八学習や墨絵の体験学習も楽しみにしています。

また、PTA学習支援体制は読み聞かせや家庭科支援など計画的にお願いしています。

昨年12月には民生委員である寺木先生、小泉先生に6年5年の学年道徳授業をしていただきました。民生委員の日高さん、主任児童委員の高橋さんにも参加していただきました。そのときの様子や子ども達の感想を掲載しましたので、お読みください。

1月には、沢木谷クラブの皆さんが、1年生に伝承遊びを教えてくださいます。

また、2月には林 琢己金沢区長を特別講師にお招きして、6年の社会科の授業をしていただく予定です。

これには、学習・活動内容の充実とともにキャリア教育やななめの関係作りという大きな目的があります。

よき大人のモデルの存在を見つけたいと思います。

今年もどうぞご支援、協働をよろしくお願いいたします。

